

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2008. 10. 6)

—2008年7～9月期実績と2008年10～12月期及び2009年1～3月期予想—

京都商工会議所
担当：中小企業経営相談センター
電話 (075) 212-6467

国内景気、自社業況とも大幅に悪化 ～ 国内景気は5期連続、自社業況は3期連続 ～

概要

米国をはじめとする世界的な景気減速を受けて、国内景気の後退懸念が強まっている。今回調査においても、国内景気、自社業況ともにより一層の落ち込みを見せており、国内景気は5期連続、自社業況も3期連続で下降。景気減速による内需・外需の冷え込みは、影響を受けやすい中小企業を中心に深刻な受注・売上の不振をまねいており、原材料・燃料高によるコスト増も相俟って、企業収益をさらに悪化させている。今後についても、景気後退色が強まるなかで明るい材料に乏しく、引き続き悪化懸念が見られる。

(注) 8月下旬から9月上旬にかけ同調査を実施し、621社中537社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また7～9月期のBSI値は、2008年4～6月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

7～9月期BSI値は、▲34.2(前期実績▲26.5)となり、全業種で大幅に下降した。また今後の見通しについても、10～12月期、2009年1～3月期ともに全業種で引き続き悪化傾向で推移し、国内景気は後退色を強める見通しとなっている。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 7～9月期BSI値は、▲17.5(前期実績▲12.8)とさらに下降した。今後の10～12月期は、年末需要を背景に下降幅が狭まるものの、全体的に力強さが感じられず、2009年1～3月期にかけてほとんどの業種で悪化傾向に推移する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 7～9月期のBSI値は、▲15.3とさらに減少した。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期は、季節的要因もあって旅館・ホテル、食料品卸、化学・ゴム、出版・印刷などの業種で増加を予想するものの、2009年1～3月期には一転してほとんどの業種で減少を見通している。
2. 製・商品・サービス・請負価格 7～9月期のBSI値は、1.4とやや上昇した。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期には、卸売業、小売業を中心に多くの業種で上昇を予想する一方、続く2009年1～3月期は、卸売業、小売業は上昇基調で推移するものの、その他の業種では慎重な見通しとなっている。

3. 経常利益 7～9月期のBSI値は、▲18.7と、減益となった企業が一段と増加した。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期は季節的要因もあって、旅館・ホテル、食料品卸、出版・印刷、食料品製造、小売業などの業種で増益を見通す一方、2009年1～3月期は情報・事業を除くすべての業種で再び減益を見通しており、先行き悪化が懸念される。なお、中小企業は全体として慎重な見方をしており、規模間で差が見られる。
4. 所定外労働時間 7～9月期のBSI値は、▲6.5と減少した。今後の見通しについては、10～12月期は、需要期に当たることから観光関連業種や出版・印刷などで増加するものの、2009年1～3月期は多くの業種で再び減少する見通しとなっている。
5. 製・商品在庫 7～9月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が74.7%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、繊維卸、繊維製品製造、繊維製造などの繊維関係業種と、窯業・土石などで過剰感が、また非鉄と食料品関係業種で不足感が見られた。今後についても、概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 7～9月期のBSI値は、BSI値▲8.0とやや悪化傾向を強めた。今後の見通しについて規模別に見ると、10～12月期には、大企業はほぼ横ばいを予想する一方、中小企業では依然として悪化を見通している。続く2009年1～3月期は、ともに悪化傾向を見通しているものの、規模間で差が見られる。

Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(55.9%)が前回に続き第1位になった。第2位は「原材(燃)料高」(54.6%)で、第3位に「過当競争」(25.1%)、第4位に「製・商品(請負)価格安」(23.1%)、第5位に「人件費負担増大」(13.4%)と続いた。1位、2位とも前回調査と同順位で、それぞれ回答ポイントを上げた。

国内景気		実績			予想					
		2008年7～9月期			2008年10～12月期			2009年1～3月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲34.2	2.6	71.0	▲25.4	5.8	56.5	▲21.9	3.9	47.7
規模別	大企業	▲29.3	2.5	61.1	▲17.9	8.4	44.2	▲18.0	4.5	40.4
	中小企業	▲36.3	2.6	75.1	▲28.4	4.8	61.6	▲23.5	3.7	50.7
業種別	製造業	▲32.7	3.6	68.9	▲26.5	5.5	58.4	▲22.5	4.3	49.2
	卸売業	▲40.8	0.0	81.5	▲27.2	7.1	61.4	▲22.1	2.9	47.1
	小売業	▲35.2	0.0	70.4	▲24.1	3.7	51.9	▲24.1	0.0	48.1
	建設業	▲33.9	0.0	67.7	▲29.4	0.0	58.8	▲22.1	0.0	44.1
	不動産業	▲40.0	5.0	85.0	▲40.0	0.0	80.0	▲27.5	10.0	65.0
	運輸・倉庫業	▲32.2	7.1	71.4	▲23.3	7.1	53.6	▲25.0	3.6	53.5
	サービス業	▲32.9	1.3	67.1	▲15.4	10.3	41.0	▲16.1	5.1	37.2

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2008年7～9月期			2008年10～12月期			2009年1～3月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲17.5	12.9	47.8	▲3.2	23.9	30.2	▲13.2	13.2	39.5
規模別	大企業	▲11.6	15.5	38.7	3.0	26.8	20.9	▲8.8	17.0	34.6
	中小企業	▲19.9	11.8	51.6	▲5.7	22.7	34.1	▲15.0	11.6	41.5
業種別	製造業	▲13.9	16.4	44.2	▲5.0	20.9	30.9	▲14.1	13.3	41.4
	卸売業	▲26.8	5.8	59.4	▲4.4	27.5	36.2	▲18.2	5.7	42.0
	小売業	▲27.8	3.7	59.3	▲1.9	25.9	29.6	▲11.1	14.8	37.0
	建設業	▲29.5	2.9	61.8	▲10.3	20.6	41.2	▲17.7	8.8	44.1
	不動産業	▲15.8	10.5	42.1	▲7.9	10.5	26.3	▲2.6	21.1	26.3
	運輸・倉庫業	▲13.0	7.4	33.3	9.3	29.6	11.1	▲13.0	7.4	33.3
	サービス業	▲15.2	16.5	46.8	3.8	33.3	25.7	▲7.1	20.5	34.6

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) × $\frac{1}{2}$